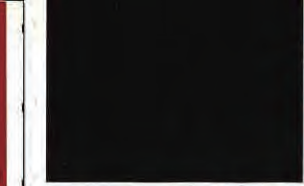




チームショーから参戦することになった日本を代表するベテランラードライバー 飯田原英雄氏。



ケーティングは地元「崎陽軒」がお弁当を販売。今年は28頁のガイドブックを制作。無料で配布。



本誌とハチマルヒーローの表紙を飾ったクルマが並び、レーシングカー展示も注目されていた。



昨年よりクラス優勝も果たした飯田原氏。新体制のチーム参戦でさらなる飛躍が期待される。

飯田原氏のヘルメットは映画「セブレン」をイメージしたカラーリングで作製された。こだわりを感じる。



2010年、飯田原氏たちはTEAM SHOWとしてラリー参戦。その参戦体制記者発表も行われた。



Nostalgic 2 Days at Pacifico Yokohama

Nostalgic 2 Days

ナスタルジック2デイズ
produced by Nostalgic Hero ハチマルヒーロー



サイン会をする高橋晴邦氏。気さくな人柄で、来場者との会話もあり、司会者のマイクにも笑顔。



RX-7開発主査の小早川隆治氏。レースでのロータリーの活躍に大きく貢献した人物でもある。



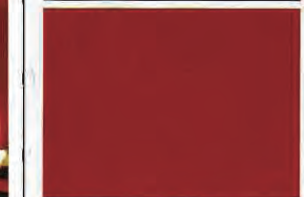
読者と直接交流できる場所なので、アンケートをお願いした。ホールなどの豪華プレゼントも用意。



開場前から多くの来場者が並び、限定販売の商品を購入しようとする来場者が多かった様子。



元レーシングドライバーの津々見友彦氏。さまざまなチームを経験してきた貴重な体験を語る。



パシフィコに再び出現!

ナスタルジック2デイズ

撮影＝神里亮徹
photographed by KAMISATO RYOTETSU
●2010年4月3～4日
神奈川県横浜市・パシフィコ横浜

昨年に引き続き、本誌とハチマルヒーロー主催による旧車イベント「ナスタルジック2デイズ」を開催

本誌とハチマルヒーローが主催するノスタルジック2デイズが4月3～4日にパシフィコ横浜で開催された。昨年はまだ肌寒い2月末の日程だったが、今年は桜咲く4月始めとなった。何かと忙しい春のスタート時期ではあったが、1万4000人の旧車ファンがパシフィコ横浜へ足を運んでくれた。

2日間のイベント期間中、さまざまな企画を準備していた。初日は元マツダRX-7開発主査の小早川隆治氏とル・マン24時間レースなど、世界で活躍してきたドライバー寺田陽次郎氏のトークショー、そして、元トヨタワークスドライバーの高橋晴邦氏のサイン会、2日目はレーシングドライバーの北野元氏と津々見友彦氏、そしてSR311フェアレディ2000を自ら所有する飯田原氏のトークショー、R32スカイライン開発主査を務めた伊藤修令氏のサイン会が行われた。

初日のトークショーではマツダロータリー全盛期の話で盛り上がる。ステージには会場に来ていた元プリンストンドライバーの砂子義和氏がサプライズゲストとして招かれ、当時の新星ドライバー寺田氏の印象などを語った。2日目のトークショーでは当時のワークスドライバーについてや、レーシングカーだったフェアレディZなどの興味深い話が出てきた。飯田原氏のトークショーでは免許を取った当時の話やクルマ変遷など、プライベートな一面を語り、来場者の興味を引いていた。

主催者として反省も多かったが、読者やショップとの交流は財産となった。次回、来場者の方に喜んでもらえるイベントは何かを念頭に、どのようなノスタルジック2デイズにするか、すでに熟慮の時間がスタートしている。

マツダのマシンで活躍したドライバー寺田陽次郎氏。デビュー当時など興味深い話をしてくれた。



当時のレーシングカーについて興味深い話をしてくれた元レーシングドライバーの北野元氏。



発売されたばかりの但馬治写真集のR32の頁にサインをするR32スカイライン主査、伊藤修令氏。

MCを担当した春木英利氏(左)、福島アグネス氏(左から2番目)とモータージャーナリスト片岡英明氏(右から2番目)、石井編集長(右)がトークショーを盛り上げる。



TAオートが制作したフェアレディZ432レーシングに乗り込む北野元氏。思わず笑みがこぼれる。



スワップミートは2日目に開催。個人出店ブースで、お宝がたくさん。子供たちもイベントを楽しむ。

SS KUBOの久保氏と会話する北野氏。当時のレーシングカーについて話している様子。

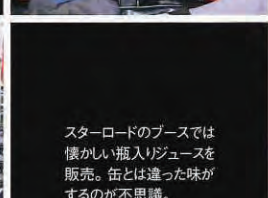


開場だけでしか聞けない特別な話に多くの来場者が耳を傾ける。次回も特別な話が聞けるかも。

レーシングカーなどの特別展示車両が並び、普段間近に見ることのないレーシングカーがすぐ近くに。



スターロードのブースでは懐かしい瓶入りジュースを販売。缶とは違った味があるのが不思議。



前号までストアの記事で追っていたホンダN360。美しい仕上がりに、記事を読んでいた人は驚き。

表紙カメラマン谷井氏の写真ブースにはハコスカとトヨタ2000GTが用意された。右が完成品。



本誌表紙を長年撮影してきた故、但馬治氏の写真展と全バックナンバー立ち読みコーナーを設置。

会場限定で販売された特別表紙バージョンの本誌とハチマルヒーロー。本誌は古いロゴを使用。